



吹田市では、市内南西部の地下鉄御堂筋線江坂駅西側の通りが整備されたことを契機に、豊津公園を「光と色によるしたしみの空間」として位置づけ、地域の中核となるように再整備を行った。

公園の整備にあたっては、ビジネスやショッピング、レジャーなどで周辺を訪れた人々に潤いや安らぎを提供できるように、滝組みやせせらぎによる水の流れを形成し、水際には心なごむ草花、木陰のベンチ、芝生にアスレチック風の木製遊具などを配し、広い花壇には四季折々の草花の植栽を施している。

また、夜間には水中から滝をライトアップすることにより、光と色が織りなす美しい景観を創出し、昼夜を問わず都会にふさわしい憩いや語らい、休息の場としての公園として生まれ変わった。

## DATA・BOARD 48



- ①大阪府吹田市豊津町7番
- ②面積：3,000㎡
- ③ベンチ、照明灯3基、滝組み2基、ハッ橋1基、花壇、広場、休養施設、修景施設、ライトアップ施設、木製遊具、砂場
- ④小豆島産の自然岩、韓国産のタイル、木材ほか